

各関係機関団体の長
各病虫害防除員

} 殿

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

令和8年度病虫害発生予察注意報第2号について

このことについて、病虫害発生予察注意報第2号（果樹カメムシ類）を発表したので送付します。

注意報第2号

- 1 対象作物名：果樹全般
- 2 病虫害名：果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ他）
- 3 発生予想：発生時期は例年より早い。発生量は一部地域で多い。

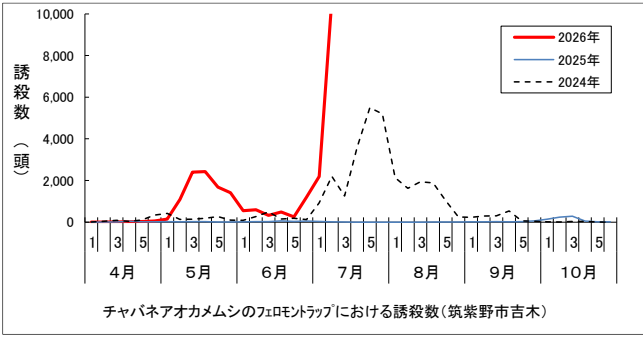
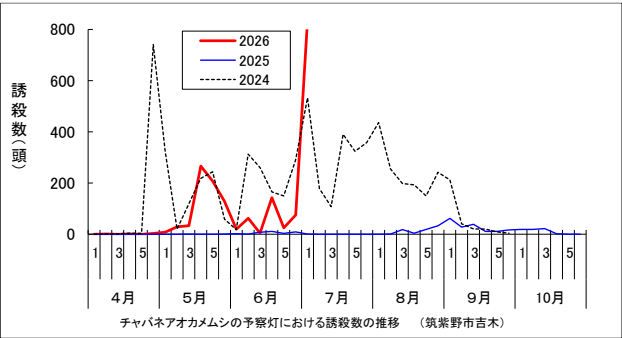
4 予報の根拠

(1) 令和8年7月以降の果樹カメムシ類の発生量（予察灯・フェロモントラップ誘殺数）は、一部地域で多発生となっている。予察灯（県下5地点：筑紫野市吉木、久留米市田主丸、うきは市浮羽、朝倉市杷木、飯塚市入水）およびフェロモントラップ（県下3地点：筑紫野市吉木、宗像市江口、うきは市吉井）のうち、多発生が確認された地点は下記のとおり。他地点については当所ホームページを参照。



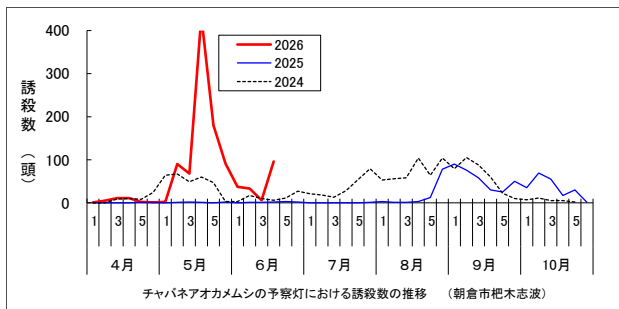
ア 筑紫野市吉木

・チャバネアオカメムシの予察灯およびフェロモントラップ誘殺数は、直近の前期発生型となった2024年よりも多い。



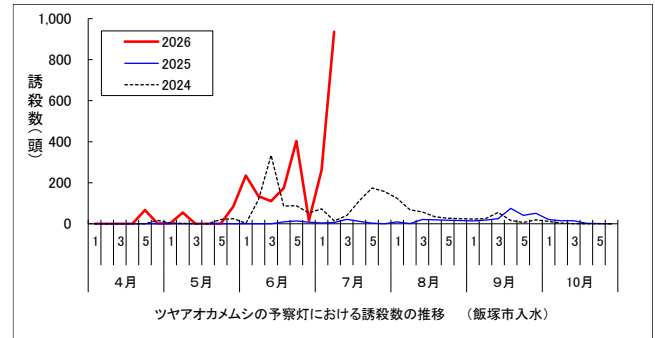
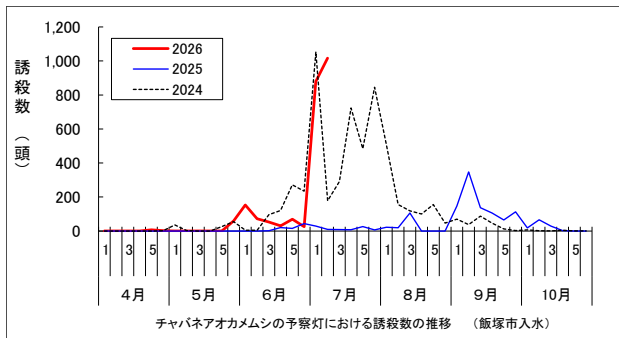
イ 朝倉市杷木

・チャバネアオカメムシの予察灯誘殺数は、直近の前期発生型となった2024年よりも多い。



ウ 飯塚市入水

- ・チャバネアカカメムシの予察灯誘殺数は、直近の前期発生型となった2024年並に多い。ツヤアカカメムシの予察灯誘殺数は、2024年よりも多い。



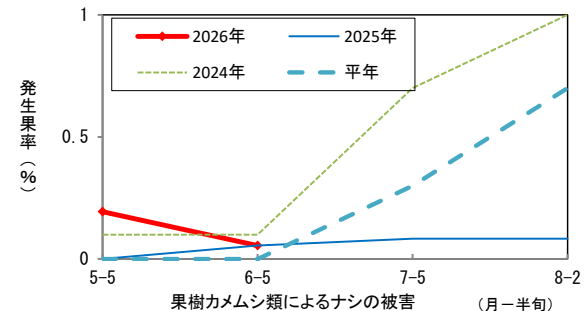
- (2) ヒノキ球果結実量が少ないため、引き続き7月以降も果樹園へ多く飛来する恐れがある。(令和8年6月11日付8農林試第292号ー3、令和8年度病害虫発生予察技術情報第2号を参照)
- (3) 当年世代について、例年では7月下旬から当年第一世代が成虫となり、その多くがスギ・ヒノキ樹に寄生する。

今年は2月以降高温傾向で、生育が例年より早まっている可能性があり、例年より早い時期から果樹園へ多く飛来する恐れがある。

- (4) 気象庁の1か月予報では、向こう1か月(7月11日～)の気温は、高く、降水量はやや少ないと予想されている。
- (5) 6月5半旬調査の結果、ナシでの被害果は平年よりやや多かった。

被害果率 0.06% (平年 0.03%、前年 0.06%)

発生ほ場率 16.7% (平年 8.2%、前年 8.3%)



5 防除上注意すべき事項

- (1) 気象の推移とともに予察灯やフェロモントラップでの誘殺数が増加する時期と量に留意し、果樹園への飛来状況の把握に努める。発生時期や発生量は地域や園によって大きく異なるため、把握のための観察は一部の樹だけではなく、園全体の樹について行う。
- (2) 各種果樹について、例年より早く被害が発生する恐れがあるため、飛来状況を確認し、防除や袋掛け作業を徹底する。また、果樹カメムシ類は広範囲に移動することから、薬剤散布は広域で一斉防除を実施することで、高い防除効果が期待される。
- (3) 今後の発生状況については、病害虫防除所ホームページを参照する。

病害虫防除所のホームページでは、各種病害虫の発生状況を随時更新しています。

発生状況の把握や防除の参考にご活用下さい。

○福岡県病害虫防除所のホームページへのアクセス

URL: <https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/fukuoka-bouzyosyo.html>

または右QRコード①

○X (旧Twitter) で定期情報や警報等発出のお知らせをしています。

X (旧Twitter) の本アカウント (福岡県農作物病害虫情報) へのアクセス

URL : https://x.com/PPDPO_Fukuoka または右QRコード②

①⇒

②⇒

